

### 介護保険料について

質問 介護保険料が全国最高となった要因について伺いたい。

答弁 介護保険料は、平成十八年度から平成二十年度の給付実績をもとにして平成二十一年度から平成二十三年度の人口推計から三年間の保険給付実績等を見込んだ額のため、もともとなる給付実績が多いことから、保険料の基準月額が五千七百七十円と高い介護保険料となっている。特に当市における一人当たりの年額の保険給付額を県平均と比較すると、訪問介護が約二倍、訪問看護が約三・二倍、通所リハビリテーションが約二倍、老人保健施設が約一・三倍となっているほか、一人当たりの保険給付費が高い要介護の重症化が見られる。また、高齢者の一人世帯や夫婦世帯も増加しているほかには有料老人ホーム施設等の利用者が増加していることも介護保険給付費が増加している要因として考えている。

### 女性のがん予防について

質問 特に乳がんと子宮頸がんへのこれまでの予防策

と今後について伺いたい。

答弁 乳がんと子宮頸がんの予防対策は、がん検診受診率向上と早期発見のため、市広報掲載、各種集団検診時、並びに地域での保健師による健康教育、保健協力員による街頭でのチラシ配付などにより普及啓発を図っているほか、市内の事業所に対し、女性従業員へのがん検診の勧奨を行っている。

また、がん検診は、集団検診、個別検診により実施しているが、受診率は伸び悩んでいる状況にある。今後は、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、受診率の向上を図るため、無料のがん検診クーポン券を発行することとしている。

## 観光経済

### 温室効果ガス削減策について

質問 間伐による温室効果ガス削減について伺いたい。

答弁 当市における民有林の人工林面積一万三千三十ヘクタールにおいて、間伐等の整備が必要な面積は



間伐が必要とされる杉林

約四千ヘクタールと見込まれ、その対応が大きな課題となっている。今後は、関係団体等と連携しながら、国の緊急経済対策による森林整備加速化・林業再生事業を有効に活用して間伐を促進し、CO<sub>2</sub>の削減に貢献していきたい。

### 水源涵養対策について

質問 当市における今後の水源涵養対策について伺いたい。

答弁 今後の水源涵養機能の維持増進については、森林の立地条件に応じて複層林施業を積極的に推進するほか、更新時に裸地化する面積及び期間を縮小するため、森林の面的広がりや配置にも留意して、一カ所当

### 稲生川について

質問 疎水百選一位の稲生川の価値を生かす、これまでの取り組みと今後について伺いたい。

答弁 農業用水は、食料生産に欠かすことのできない重要な役割を果たしていることに加え、生活用水、防排水等の地域用水機能を有しており、農家のみならず地域住民も含めた社会共通の資本である。当市発展の基礎となっている稲生川の整備が進められ、その未利用地を活用してつくられた稲生川ふれあい公園では、年に一度ふれあい祭りが行われ、毎年約三百人の参加者が水と親しんでいる。



整備されているふれあい公園

ものと考えている。市としては、引き続き疎水百選一位であることを市のPRに活用していきたい。

### 北里大学病院への食材納入について

質問 北里大学病院への当市の食材納入について伺いたい。

答弁 北里大学の四つの病院には、合わせて二千二百を超える病床があり、そこに当市で生産される安全、安心でおいしいニンニク、長芋、ゴボウ、ネギ等を納めることができれば、新たな販路の開拓と市のPRにもつながることから、非常に魅力的なことと考えている。このため、市としては、毎年北里大学獣医学部との

間で行っている懇談会等の機会をとらえて、積極的に売り込みを図っていききたい。

### 十和田湖広域観光圏について

質問 十和田湖広域観光圏認定による今後の発展見込みについて伺いたい。

答弁 八戸市、青森市など四市四町で構成する新たな青森の旅・十和田湖広域観光協議会が作成した観光圏整備計画が観光圏として今年四月に国の認定を受けた。この計画では、地域の自然と生活を体感させる環境と共生した広域観光圏づくりをコンセプトとして捉え、新たな青森観光ルートの確立、新たな青森流湯治体験の普及、新たな青森食文化堪能のプログラム作り等を基本として取り組むものである。そのため、地域資源を活用した観光の推進に努めるとともに、地場産業の活用、食文化や生活文化の体験、滞在プログラムの開発を行っていくこととしている。

